

実施内容	科学は難しくない！ サイエンスショーで楽しく学ぼう！		体験領域	科学・先端技術
日時	令和5年8月31日(木)	場所	体育館	
実施校	新宿区立西新宿小学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 本プログラムは、科学の原理を用いたサイエンスショーを通じて、科学への興味・関心を高めるとともに、思考力等を育む内容となっています。 子供たちがショーを観るだけでなく、参加する機会を設定することで、科学的な現象を実感・体感する内容となっています。 			

全体の様子

- 科学に関する手品を間近で見ること、「不思議だなあ」、「どうしてだろう」と疑問の声が多く上がっていました。
- 子供たちは、実験で取り上げた科学的な現象と日常生活の関わりについての説明を身をのり出して聞いていました。「初めて知った」、「そういうことだったのか」などの声が聞こえ、実感を伴った理解につながったようです。
- パフォーマーからは、「間違ってもいいから考えることが大切だよ」、「考え方は一つではなく、いろいろあるよ」など、子供たちにとって毎日の学習における学び方の工夫につながる話もありました。



風船をつなげた輪に、送風機からの風を当て、その場で回転させる実験の様子

リモネンの成分が含まれたレモンを使って風船を割る実験



レモンの皮に含まれる物質により、ゴムを溶かす実験の様子

- 自分たちの身の回りにある物を用いて科学の実験ができることを知り、科学を身近に感じたようです。
- この実験から、レモンの皮に含まれる物質がゴムを溶かす性質はプラスチック類のリサイクルにも用いられることを学びました。

空気砲を用いた渦輪(うずわ)の実験



円形の穴がある箱に煙を充満させ、箱の側面を叩くことで、煙が輪になって飛んでいく様子

- 飛んでくる煙の輪を見て、「風もないのに、煙の輪が飛んでいくなんて、不思議だな」などの感想が聞かれ、どうしてそのようなことが起こるのか疑問に思っている様子でした。
- 自分たちの予想と結果が異なった際には、驚きの声が上がりました。さらに、そうした現象が起こる理由を聞き、納得しているようでした。

参加した児童の声・反応

- 普通はタネを教えてもらえないけど、どうしこうなるのかを考えられるマジックは面白く、正解も教えてもらえるものもあったので答え合わせができるのもよかった。
- マジックなので仕掛けがあることは分かるけど、それが何なのかを考えることが楽しかった。
- テーブルが浮くマジックやトランプのマジックでは、タネは教えてもらえなかったけど、本格的なマジックで楽しかった。